

## 大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況について

## 1. 操業状況

## (1) 搬入実績(平成18年10月～平成29年12月末)

平成18年10月から平成29年12月末までのPCB廃棄物搬入実績は、トランス類が2,550台(H.29.6末:2,524台)、コンデンサ類が72,692台(同:69,721台)、廃PCB等が1,426本(同:1,322本)となっています。

近畿2府4県で登録されているPCB廃棄物のうち、トランス類では約91%(同:90%)、コンデンサ類では約97%(同:93%)、廃PCB等では約88%(同:81%)が搬入されました。

表-1 年度別の搬入実績

種類	年度	滋賀県	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	大阪府	大阪市*2	合計
トランス類 (台)	18	-	-	-	-	-	68	68	68
	19	-	-	-	-	-	332	332	332
	20	-	6	-	-	-	306	257	312
	21	2	8	74	-	6	290	116	380
	22	3	28	99	6	14	252	92	402
	23	1	22	79	48	8	101	77	259
	24	3	19	18	4	25	118	52	187
	25	3	20	28	31	1	186	81	269
	26	4	11	21	13	-	76	43	125
	27	-	5	27	4	14	38	27	88
	28	-	15	24	-	23	21	17	83
	29年12月末	-	-	14	2	-	29	25	45
	合計	16	134	384	108	91	1,817	1,187	2,550
	登録数	16	141	469	109	99	1,968	1,282	2,802
搬入実績	100.0%	95.0%	81.9%	99.1%	91.9%	92.3%	92.6%	91.0%	
コンデンサ類 (台)	18	-	-	-	-	-	2,096	2,096	2,096
	19	-	-	-	-	-	4,575	4,575	4,575
	20	52	87	245	9	-	5,015	2,649	5,408
	21	493	1,014	2,270	254	546	1,831	458	6,408
	22	598	525	2,462	156	563	2,228	566	6,532
	23	655	770	2,377	179	428	1,784	183	6,193
	24	588	1,271	2,546	269	513	2,527	293	7,714
	25	1,257	845	3,800	338	306	2,373	506	8,919
	26	457	736	2,834	355	145	1,709	322	6,236
	27	252	804	3,046	271	325	2,210	682	6,908
	28	271	1,878	2,828	159	210	1,445	356	6,791
	29年12月末	165	1,742	1,707	41	48	1,209	557	4,912
	合計	4,788	9,672	24,115	2,031	3,084	29,002	13,243	72,692
	登録数	4,931	9,689	24,492	2,139	3,216	30,734	13,805	75,201
搬入実績	97.1%	99.8%	98.5%	95.0%	95.9%	94.4%	95.9%	96.7%	
廃PCB等 (本) *1	18	-	-	-	-	-	20	20	20
	19	-	-	-	-	-	69	69	69
	20	-	5	-	-	-	88	82	93
	21	1	5	44	1	-	30	28	81
	22	5	-	21	-	-	57	3	83
	23	2	10	51	-	6	111	46	180
	24	62	10	30	-	3	193	144	298
	25	41	10	11	2	4	161	81	229
	26	4	13	56	-	-	13	4	86
	27	8	4	23	-	2	41	17	78
	28	12	10	29	1	1	38	18	91
	29年12月末	5	33	57	-	-	23	12	118
	合計	140	100	322	4	16	844	524	1,426
	登録数	156	120	398	5	39	910	556	1,628
搬入実績	89.7%	83.3%	80.9%	80.0%	41.0%	92.7%	94.2%	87.6%	

\*1 ドラム缶等本数

(登録台数は、平成29年3月末現在)

\*2 大阪府に含まれる内数

## (2) 中間処理実績等(平成 18 年 10 月～平成 29 年 12 月末)

平成 18 年 10 月から平成 29 年 12 月末までの P C B 廃棄物処理実績は、(表-1)のとおりトランス類が 2,527 台(H.29.6 末:2,505 台)、コンデンサ類が 67,338 台(同:65,338 台)、廃 P C B 等が 1,366 本(同:1,284 台)となっており、近畿 2 府 4 県で登録されている P C B 廃棄物のうち、トランス類、コンデンサ類ともに約 90%(トランス類同: 89%、コンデンサ類同: 87%)、廃 P C B 等では約 84%(同: 79%)が処理されました。

トランス類については、平成 21 年度をピークに台数は減少傾向、重量は平成 22～28 年度は 300t～400t で推移しています。小型トランスから大手多量保管者が所有する大型物に推移してきており、平均重量では平成 21 年度は 1.06 t ですが、特に平成 28 年度は電鉄会社の 20t クラス 5 台を含め大型物の処理が進み平均重量でも 4.1 t となっています。平成 29 年度は、保管事業者も絞られ 12 月末で 41 台に減少、残存物に 20t を超えるものが僅かになったこと等により平均重量は 2.5t となりました。なお、1 月以降は前年程度の処理を見込んでいます。

コンデンサ類については、平成 24・25 年度をピークに減少傾向にあります。平均重量では平成 24 年度は 54.4kg、平成 28 年度は 33.5kg、掘り起し活動により登録されるコンデンサ類も 10kg 以下の小型電気機器の割合が多く平成 29 年度 12 月末の処理実績平均は 30.1 kg となっています。

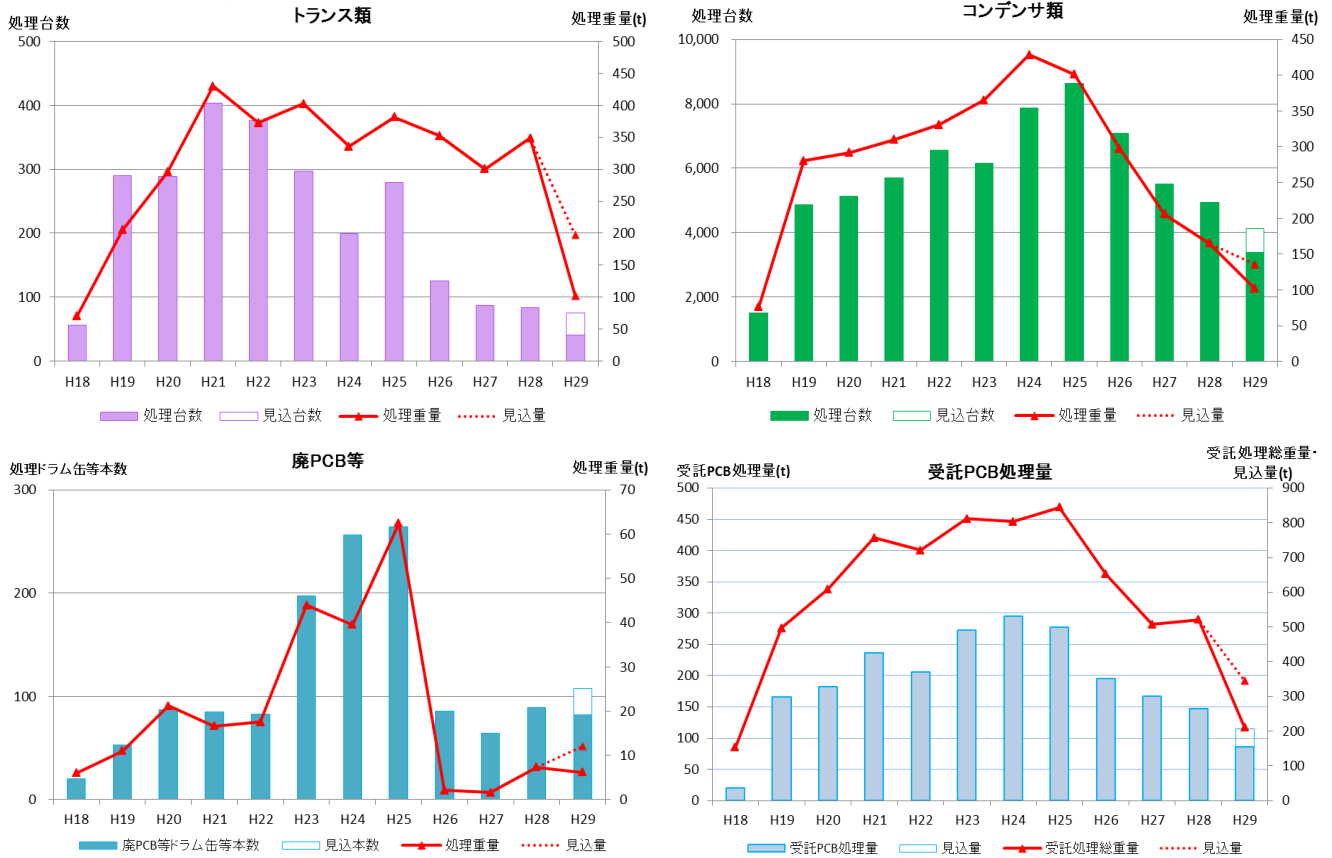
全体として、残りが 10%程度となる中で契約が難航するほか、処理手間物・困難物等(大型物等搬出困難物、P C N 油を含んだトランス、コンクリート固化品、組成不明油、P P コンデンサ(少量保管者分のみ。))により、搬入までの期間や処理に時間を要していますが、引き続き安全確実に処理を行い、早期処理を推進してまいります。

なお、処理手間物・困難物等の台数・処理方針等については、後段に状況を記載します。

表-1 年度別の中間処理完了実績等

種別		年度													計
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29 12月末		
受託処理 (中間処理 D票)	トランス類	処理数(台)	56	290	289	404	376	297	199	279	125	87	84	41	2,527
		処理重量(t)	70.4	205.0	295.9	429.9	372.6	402.6	335.7	381.7	352.4	300.3	348.9	102.5	3,597.9
	コンデンサ類	処理数(台)	1,513	4,862	5,136	5,692	6,557	6,152	7,873	8,636	7,091	5,507	4,931	3,388	67,338
		処理重量(t)	77.0	280.4	291.5	309.8	330.9	364.9	428.5	400.8	297.5	205.7	165.0	102.0	3,254.0
	廃 P C B 等	処理台数(本)	20	53	87	85	83	197	256	264	86	64	89	82	1,366
		処理重量(t)	6.0	11.0	21.2	16.6	17.5	43.9	39.5	62.4	2.1	1.6	7.3	6.2	235.3
	処理重量計(t)		153.4	496.4	608.6	756.3	721.0	811.4	803.7	844.9	652.0	507.6	521.2	210.7	7,087.2
	受託 P C B 処理量(t)		19.7	165.7	181.9	236.5	206.0	272.8	295.4	276.9	195.7	167.2	147.2	86.1	2,165.0

図-1 中間処理実績等



(3) 払出実績(平成18年10月～平成29年12月末)

1) 有価物・廃棄物

有価物・廃棄物の払出実績は(表-3)に示すとおりであり、これらは(表-4)に示す方法で再資源化しています。

表-3 年度別の払出実績

単位(t)

区分		年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29 12月末
有価物払出実績			100	593	663	849	724	810	761	666	485	433	429	272
内訳	劣化溶媒*		53	372	375	479	386	433	425	318	118	115	131	79
	鉄		39	179	230	293	261	294	262	262	293	256	236	159
	銅		4	17	30	40	37	42	36	45	38	32	34	17
	その他*1		4	25	28	37	40	41	38	41	36	30	28	17
廃棄物払出実績			100	638	903	1,046	908	1,252	1,258	1,160	867	828	713	425
内訳	塩酸		79	419	550	671	597	713	748	724	522	502	442	260
	ビフェニル		15	133	147	190	157	208	197	221	164	143	112	71
	トリクロロベンゼン		0	30	50	66	60	61	56	59	44	55	43	25
	碍子・ガラスくず		3	16	18	20	17	21	22	19	16	12	11	7
	活性炭汚泥		0	0	30	20	10	20	22	27	32	26	31	13
	その他*2		3	40	108	79	67	229	213	110	89	90	74	49

\* 劣化溶媒：脱塩素化分解の反応溶媒として使用した鉱油

\*1 その他：アルミ、ステンレス等

\*2 その他：木酢液、廃アルカリ水、分析廃水、炭化物、廃プラスチック等

## 2) 廃棄物等の再資源化方法

表-4 払出している廃棄物等の再資源化方法

廃棄物	再資源化方法
劣化溶媒	工業用燃料
塩酸	飛灰、スラッジ、汚染土壌の金属抽出剤として利用
	汚泥処理（中和）剤として利用
ビフェニル	他の廃油等と混合の後、セメントメーカーで燃料として利用
	他の廃油等と混合の後、助燃油として利用
トリクロロベンゼン	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料
碍子・ガラスくず	再生砕石等として利用
活性炭汚泥	路盤材として利用

### (4) エリア間移動による効率的な処理の推進

平成29年12月末時点でのエリア間移動処理の実績及び今後の計画は(表-5)のとおりです。

表-5 エリア間移動処理の実績及び今後の計画

(処理台数)

区分	分類		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
トランス類	新幹線車載トランス (豊田エリアから)	計画	10	8	6	6	0	0	30
		実績	10	8	5	-	-	-	23
コンデンサ類	特殊コンデンサ (北海道エリアから)	計画	0	0	97	140	140	123	500
		実績	0	0	60	-	-	-	60
	特殊コンデンサ (豊田エリアから)	計画	9	70	68	120	120	113	500
		実績	9	70	23	-	-	-	102
	PPコンデンサ (豊田事業所へ)	計画	296	2,368	2,010	1,326	0	0	6,000
		実績	296	2,368	1,637	-	-	-	4,301